

令和4年度 イチオシ!の ICT 活用方法

教育委員会

南房総市教育委員会

1. 小学校の学習における活用方法 (学校名: 南房総市立白浜小学校)

「算数の授業でのICT活用場面」

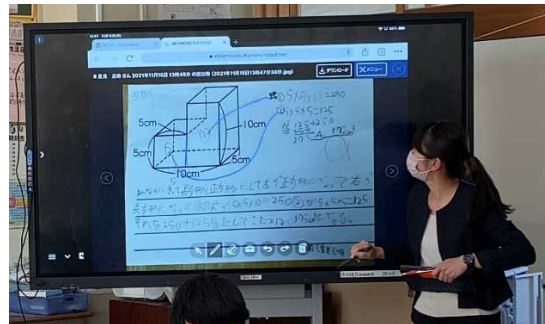
- ①タブレットドリルに取り組む
(個別最適化学習)
⇒①教科書②ドリル③タブレットのように、3段階に分けて、つまずいている子どもを把握し、支援できる。教師の丸付けを待つことなく、自分のペースで問題に取り組むことができる。
- 意欲を高める。
 - 理解を高める。
 - 習熟を図る。
- ②自分の方法についてノートを書き説明する。
⇒電子黒板に複数の考え方を同時に見せたことで、同じところや違うところが一目でわかるようになった。
- 表現や技能を高める。
 - 思考を深める
- ③児童のワークシートを写して比較検討
⇒今までは、ノートに書いたものを小さなホワイトボードに書き写していたが、ノートの写真を撮ることで、ホワイトボードに書く時間が省けた。
- 習熟を図る。
 - 思考を深める。



↑①タブレットドリルに取り組む児童



↑②児童のワークシートを写して比較検討



↑③自分の方法についてノートを写して説明

2. 中学校の学習における活用方法（学校名：南房総市立白浜中学校）

「タブレットを活用した個別最適化学習」

南房総市全体の取組

- ①教科書に合わせた内容や、問題特性に合わせた内容など、授業後の学び直しや練習問題、発展問題と、様々な内容で学習できる。
 - 自分のペースで学習に取り組むことができる。
 - 個々の躓きに対応して、小学校の既習事項から学び直しをすることができる。（系統別に学び直しもできる。）



↑①デジタルドリルに取り組む児童

- ②本市では、毎年4月に、市一斉学カテストを実施しており、ドリルがその結果に基づく個人別オリジナルカリキュラムを提示する機能があるため、その機能を使った個別最適化学習を行うことができる。
 - 自分のペースで学習に取り組むことができる。
 - 個々の躓きに対応して、積み残しを減らし、効率的に苦手を改善することができる。

朝自習の時間や授業後の練習など、ちょっとした空き時間でも使用することができるため、気軽に個別最適化された学習に取り組むことができる。